

平成 27 年 5 月 29 日
東部農林振興センター 出雲農業普及部

標 題 県オリジナルアジサイ ‘万華鏡’ 本年産も大好評

(ダイジェスト)

島根県で育成した県オリジナルアジサイの ‘万華鏡’ が、母の日の贈答品として、今年も県内外の市場へ出荷が行われました。

出荷 4 年目となる本年は、「島根県アジサイ研究会」会員 7 名によって、去年の 27,000 鉢を上回る約 35,000 鉢が出荷されました。

県では、鉢花経営の新たな春季品目として、平成 17 年度からアジサイの育種に取り組み始め、平成 24 年には県オリジナル品種の ‘万華鏡’ が、国内外の優れた花の新品種を選ぶ品評会において「フラワー・オブ・イヤー」を受賞し、この年から ‘万華鏡’ を出荷し始め、順調な滑り出しとなりました。

出荷 4 年目となる本年は、「島根県アジサイ研究会」会員 7 名によって、4 月 19 日から母の日にかけて、関東を始め、中京・関西・中国・北九州・県内市場に出荷が行われました。また、県内での流通量も増やすことができ、総出荷量は去年の 27,000 鉢を上回る約 35,000 鉢となりました。なお、本年産からは、出雲市内にある島根県立東部高等技術校の協力によって作成された新しいロゴマークと購入後のアジサイ管理についての POP をつけて販売し、ブランド確立に向けた商品 P R にも力を入れています。



研究会会員としまねっこ

【HPトップページ写真】



出荷を待つ ‘万華鏡’

今後、来年に向けて、本年産の出荷状況や市場の意見を踏まえ、課題として残っている花色の発色程度の均一化、改善等を図っていくこととしています。また、出荷会員も今後増える見込みであり、生産拡大が期待される一方で、品質の統一も大きな課題となります。当普及部としても、研究・技術普及部との連携を密にし、生産者と一体となってこれらの課題解決に向け取り組み、生産拡大につなげることであります。

担当者

出雲東地域振興課

北川絵理

TEL 0853-30-5603